

## 各種悪性腫瘍に関する臨床データの研究利用についてのお願い

## 研究の概要・背景

各種癌における診断・治療標的関連タンパクの発現および局在に関する免疫組織化学的研究 –の発展的展開を狙います。免疫組織化学的手法を用いた病理学的探索研究において、細胞増殖制御に関わるタンパク群として、がん診断・治療標的関連の候補分子（CEA, CD133, p14, p16, p53, CAR(CXADR), TRA-1-60, TRA-1-80, OGFOD-1, Crb3a, 5-hmc, 5-mc, LRP1B, EZH2, PRAME など）を中心にこれらの発現制御にかかわる可能性のある分子群を検討し、これらに併せて必要性に応じ既知の診断・治療標的分子（Ki-67, Akt キナーゼ、PARP, EGFR, HER-2, bcr-abl など）およびタンパクレベルで、各種臓器がんの臨床サンプル（病理組織切片を材料とする）における発現頻度やその局在を明らかにし、これらバイオマーカーの機能解析の一助とすると同時に、がんにおける性状の解析を通じて、がん医療の発展に資する新たな腫瘍バイオマーカーの創出および次世代のがん診断・治療への臨床応用開発の可能性を探ることにあります。

## 試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

解析手法としては、上記記載の数種類の特徴的発現やこれらマーカー分子の制御にかかわる可能性のある関連分子群のタンパクレベルでの発現をホルマリン固定パラフィンブロックを用いて、免疫組織化学（抗体染色）的な検討により行います。またこれに併せて臨床情報との相関を検討します。

## 対象者・期間

2017年12月から2022年1月までに当院で手術（生検）され消化器癌、呼吸器癌、頭頸部癌、乳癌、生殖器腫瘍、脳神経腫瘍、血液腫瘍と診断された方。

## データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

**【お問い合わせ先】**

長岡赤十字病院 病理診断部

担当医師：薄田浩幸

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)